

送付先: ICT夢コンテスト2019 事務局 宛 (E-mail: yume-oubo@japet.or.jp)

ICT夢コンテスト 実践事例応募用紙

※この応募フォーマットはホームページよりダウンロードしてください。

類似のコンテストに入賞歴の無い事例が対象です。有無を右欄に記入ください。

無し

この実践事例は下の要素の何々を含んでいますか。該当する項目の左に ● を記入してください。複数選択可です。

効果的な授業	児童生徒の資質・能力向上	教員研修	ICT活用指導力向上
校務の情報化	保護者や地域への情報発信	ICT環境整備	ICT活用サポート
ICT活用推進	学校運営・管理	保護者や地域による学校支援	地域での児童生徒学習支援
学校行事	通級指導教室・特別支援学級	その他 ()	

学校又は団体名 (実践時)	実践時の学校または団体名を記入。現所属が異なる場合は (現所属: ○○教育センター 指導主事) のように追記。		
団体種 (校種、NPO 等)	小学校、小中一貫校、中学校、中高一貫校、高等学校、特別支援学校、幼稚園、保育園、こども園、大学、大学院、企業、NPO、任意団体等		
応募者 氏名漢字、職名、氏名カタカナ ※連名での応募も可	代表者	夢野 夢太郎	教諭
	連名者	夢元 夢子	ICT支援員
学校や団体への所属年数(代表者)	年	ICT夢コンテストの今回を含む応募回数 (代表者)	回目
応募者 連絡先〒 (半角)	応募者 連絡先住所		
応募者 E-mail	応募者 電話番号		

実践事例タイトル (30 文字以内・サブタイトル無し)			
教科もしくは分野	教科の単元がわかる場合 (複数可)	<div style="border: 2px solid yellow; padding: 5px; display: inline-block;"> 先進性・普及性の判断基準については次頁参照 </div>	
対象者 (学年・他)			
実践場所 (PC 教室、体育館等)	実践時期		
活用した ICT 機器、教材、環境等	実践の特長 (先進性、普及性) をどちらか一つ選択 ※該当する項目の左に●を記入	先進性	普及性

アンケートをお願いします。

コンテスト企画運営の参考にさせていただきます。番号を「番号記入欄」に記入してください。複数記入可です。

(問) 本コンテストをどのようにお知りになりましたか。

(回答群) ①案内ポスター ②案内チラシ ③事務局メール ④新聞等のニュース媒体から ⑤前から知っている
⑥教育委員会からの紹介 ⑦上司や友人・所属団体からの紹介 ⑧JAPET&CEC ホームページより

番号記入欄									
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

ご意見	
-----	--

*連絡先住所は、事務局からの郵送物を受け取れる住所をご記述下さい。また、E-mail 及び電話番号は、事務局から連絡を取らせていただけるものをご記述下さい。

- ・ 1 頁目表紙 (応募者情報) のフォーマットの変更は、ご遠慮下さい。
- ・ 応募事例の図や写真データの組み込みは自由です。参照 URL は不可です。
- ・ 表紙記述 1 頁と実践事例内容記述 2 頁以内、計 3 頁以内で纏めてください。それ以上は受け付けられません。

各項目のフォントはMS明朝11ポイントで記述して下さい。46文字/行、(1)~(3)項目の記述配分は自由です。

実践の概要 (実践内容を5行以内で簡潔にまとめる)

下の(1)(2)(3)の内容を簡潔にまとめ、記述してください。

(1) ICT活用の目的とねらい

以下の点を記述に含めるようにしてください。

- どのような課題を解決しようとするものか？
- ICT活用の位置づけは？
 - ・ 授業中のどういう場面でICTを活用するのか？
 - ・ 単元指導のどの時限の授業でICTを活用するのか？
 - ・ 課外活動でのICT活用なのか？

(2) 実践の特長・工夫 (先進性があるか または普及性があるか) ※1

※1：先進性・普及性の判断の目安

- ・ 先進性：ICTの利用場面や利用方法に今までにない工夫がある。
- ・ 普及性：読者が同様の授業を再現することができる。ただし、ある程度の工夫は必要。

ここでは、具体的にどのような活動を行ったのか記述してください。実践の様子が伝わるような写真や図表があるとよいです。

また、どのようなICT環境を使ったのか、どのような工夫(普及性の場合も記述)を行ったのかわかるようにも記述してください。

(3) 実践の成果 (子どもたちや教員はどう変わったか、絆の深まりは見られたか等)

ICTを活用したことによる変化を具体的に、また客観的に記述してください。 グラフや表などで変化を定量的に示すことができるとよいです。定量化できない場合は、具体的に目に見える変化(例えば、生徒の行動変化、生徒自ら意識変化を表明したもの、生徒による表現の内容変化など)を記述してください。

「応募用紙の書き方アドバイス」も参照ください。

http://www2.japet.or.jp/yume/2019/2019_ADVISE.pdf